

～工場視察研修会に参加して～

研修会という機会に参加することは初めてのことでした。自社の工場しか見たことない私にとってはとても新鮮でした。どの工場もとても綺麗で、危険区域・製品置場・工具などがしっかりと区画がされており、これによる作業効率の良さも見られて勉強になりました。一番興味が持てたのは、社員の勤労意欲に繋がる掲示版やサークル活動を設けていることです。

生産目標・結果や評価(成果)の掲示板は社員にとって目標ができ、社員の成長・会社の成長に繋がり、良い事だと思いました。サークル活動では社員全員で清掃・草取り・花や畑作りを行っているとも聞きました。社員同士のコミュニケーションがとれ、全員で協力しあう体制作りは、とても良いと思いました。このような社員間の協力があるからこそ、より良い製品作りに繋がるのだと思いました。

今回の研修会に参加した経験を、私自身の成長・会社での改善の提案に活かして、社員全員幸せになれるような会社向上ができるようにしていきたいと思います。

最後に…私自身にとっての初めての富士山、雄大で感動しました。

初めての研修会、初めての富士山と、とても良い経験をさせて頂きました。
本当にありがとうございました。



<黒谷 志乃歩>
(株)リョーユウ工業

TOPICSコーナーは、編集委員以外の多くの会員様の意見や写真を掲載して行きたいと思います。
掲載ご希望の方は、下記事務局まで!

** 編集後記 **

お正月に出身高校へサッカーのOB戦にいってきました。伝統校ではなかったので、昨年くらいからOB戦での親子対決が見られるようになりました。

「継続は力なり」顧問にOBの先生が就任してからOB戦が定例化し、OBたちのその指導?寄付?のかいあってか母校はメキメキと強くなりました。お父さん世代は現役との対戦ではこつそり?14人でていますがそれでも負けてしまいます。

当日、せんざいや豚汁など炊き出しをしてくれるお母さんたちにも同級生がいたりと楽しい輪が拡がっています。

九州シートメタル工業会も2世代での参加が多く、今後の拡がりが楽しみな集まりです。

皆様の積極的なご意見とご協力で更に会が盛り上がることを期待します。



<植木 剛彦>
(株)ナダヨシ

ホームページアドレスが2月1日より変わりました!

新ホームページアドレス <http://www.kyushu-sma.gr.jp>

ホームページ・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい

シートメタル九州 第29号
(九州シートメタル工業会会報)

発行日 平成23年2月25日
発 行 九州シートメタル工業会
事務局 〒812-0893 北九州市小倉南区津田1-1-3
福岡市博多区那珂6-25-15 (株)アマダ福岡営業所
TEL092-573-3655 TEL800-0242
TEL093-475-0220

今回の表紙



日本一の山 富士山。視察研修会の際に撮影したものですが、当日はあいにくの曇り空、富士の雄大な姿を晴天のなかで拝むことがかなわず、とても残念な思いをしました。
ところで皆さん、「ふじさん」の由来についてご存じでしょうか?『不二山』(二つない素晴らしい山)、『不尽山』(大きさが尽きない意)、『不死山』(竹取物語の不者不死の伝説からきたもの)のほか、現在の『富士山』は土に富む山という意味で鎌倉時代以降のものだとか。ついでにもう一つ、「富士」の画数をひとつ減らして『富士』にすると画数が奇数となり縁起がいいので、あえて点を取る呼び方もあるそうです。さすがに古代から多くの人を魅了し続けた山だけにいろんな呼び名があるんですね。

山そのものがご神体でもある富士山は、国内でも最大級のパワースポットなのだと。自分も今回の視察で富士山からパワーをもらったような気分になりましたが、研修会に参加された方々はいかがだったでしょうか?

表紙担当: 田名部 淳<(株)田名部製作所>

シートメタル 九州

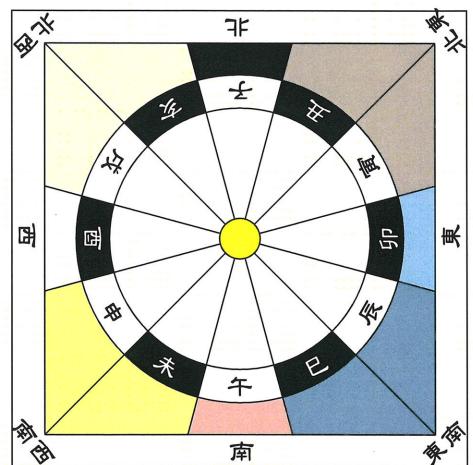
2011 初春
第29号



-CONTENTS-

干支にまつわるえとセトラ	2	マイブーム	6
企業探訪	3	鉄人俱楽部	7
工業会からのお知らせ	4・5	編集後記	8

干支にまつわるえとセトラ



平成23年が始まりました。今年の干支は?と聞かれると「卯(う)」と答えたくなりますが、厳密には正確ではありません。では干支って何でしょうか?中国由来のものというは何となくお分かりになられると思いますが、「干支」とは「十干(じっかん)」と「十二支」を組み合わせたものをいい、今年の干支は「辛卯(かのとう)」になります。なじみの子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥のみでは十二支です。十干はあまりなじみがありませんが、甲(こう・きのえ)・乙(おつ・きのと)・丙(へい・ひのえ)・丁(てい・ひのと)・戊(ぼ・つちのえ)・己(き・つちのと)・庚(こう・かのえ)・辛(しん・かのと)・壬(じん・みずのえ)・癸(き・みずのと)をいい、これを聞くと嫌~な通信簿や美味しいお酒、契約書等を連想される方もおられると思います。ここで、き・ひ・つち・か・みずの5つが出て来ましたが、万物は木・火・土・金・水の元素からなるという古代中国の「五行説」に由来しているようで、この5種類の元素は良い方にも悪い方にもお互いに影響を与え合う陽と陰を持っているそうです。日本では「陽」を「兄・え」、「陰」を「弟・と」としたところから、「干支」を「えと(兄弟)」と読むそうです。十干の「甲」と十二支の「子」の組み合わせ「甲子(きのえね)」から始まり、最後の組み合わせ「癸亥(みずのとい)」まで60種類あり、干支が一回りして同じ干支が巡って来ると「還暦」となります。聞き慣れた言葉では、ひのえうま(丙午)や庚申塔の他、壬申の乱・戊辰戦争・辛亥革命や甲子園球場等干支由来ものがたくさんあります。時刻に関する事では、お昼12時が午(うま)の刻で、正午に午前・午後となりますし、夜0時がねずみで子夜、草木も眠る丑三つ時は午前2時半頃のことです。また方角では、0時・北が子ねずみ、12時・南が午うま、6時・東が卯(うさぎ)、18時・西が酉(とり)となり、経線を子午線(しごせん・ねずみとうま)、緯線を卯酉線(ぼうゆうせん・うさぎととり)とも呼びますし、北東・南東・南西・北西をそれぞれ「うしとら・艮」・「たつみ・巽」・「ひつじさる・坤」・「いぬい・乾」と呼びます。

「辛(しん)」は「新」で草木が枯れて新たな世代が生まれようとする状態を表しているそうで、「卯」は「ぼう」という読みから「茂(ぼう・しげる)」の意味で、若葉が茂って来た状態を表しているそうです。暗い話題の多い昨今ですが、干支の文字を見ると何か希望の光が芽生えてくれそうです。ぴょんぴょん跳ね回る位に良い事が巡ります様に。

<記事担当:白水 靖久>
(株)新栄製作所



企業探訪 第28回 株式会社 アドヴァンス

九州シートメタル工業会の会員各社を順番に訪問し紹介させていただくシリーズ第28回目は、熊本県の株式会社アドヴァンスです。堀良輝社長と堀良継専務にお話を伺いました。

Q: ご創業のきっかけをお聞かせください。

A: 創業は昭和48年です。以前、金庫やロッカーなどの製作会社に勤めていたことがあります。その中に特注品の需要もあり、"特注品専門でやりたい"という思いで創業しました。



工場内

Q: 御社の業務内容、特色をお聞かせ下さい。

A: 業務内容としては機械カバーや電気関係のカバー、精密板金全般です。特色としましては、板金加工から塗装までの一貫生産体制です。特に塗装には力を入れていて、昨年2月に塗装ロボットを導入しました。稼動はまだフル稼働までは、いっておりませんが、自社の製品に合わせたノウハウなどを構築して、早く仕事が順調に流れしていく様にロボットと格闘中です。今後は板金加工から塗装まで自動化して、品質向上や短納期にしていきたいですね。



塗装前の製品

Q: 今後の展望や夢をお聞かせ下さい。

A: 現在のお客様を大事にしながら、新規顧客の比率を少しづつ増やしていきたいです。時代の流れや環境の変化に合わせた会社作り、職場を変化させ、今まで以上の品質向上に努めて、お客様に好かれるような会社にしていきたいと思っています。



完成品(ソーラーパネル用メーターBOX)

Q: 九州シートメタル工業会に期待される事等がありましたら、お聞かせ下さい。

A: 今後、人材教育に力を入れ技能検定やセミナーに参加したいと考えています。出来れば、熊本の会員があと少し増えて、熊本でも開催する機会を増やしてもらいたいと思います。



堀専務と堀社長

<会社概要>

(所在地) 〒861-2236 熊本県上益城郡益城町広崎向峰1592-31

(TEL) 096-286-8014

(FAX) 096-286-9709

(商号) 株式会社 アドヴァンス

(営業品目) 精密板金全般(板金加工から塗装までの一貫生産)

<取材担当:野口 武志> (有)真和ステンレス工業

静岡工場視察研修会

11月12日～13日に工場視察研修会が実施されました。今回も昨年同様、九州の各空港(福岡、北九州、宮崎)から出発して羽田空港集合となりました。羽田空港で15社27名(事務局4名含む)が無事集合し、APECによる厳戒態勢の中バスで一路静岡へ。

はじめに訪問したのは株式会社ヤマイチ様。工場内上部の空間に設計室をつくられていたり、コンプレッサーの排熱を暖房として利用されていました。独自の工夫をなさついて大変参考になりました。



ホテルから見た富士山

ヤマイチ様を出ると、それまで雲に隠れていた富士山が現れ喜んだのもつかの間、気が付くと車一台通るのもやっとの山道へ。対向車との遭遇にハラハラしながら辿り着いたのは、2社目の訪問先である株式会社関東精工様。「メーカー様のアシスタントメーカー」、「一人三役」を実現する為に人材育成に力を注がれており、広々とした多目的ホールがあつたり、各所にいろいろな心得等のメッセージが掲示されていました。こちらも大変参考になりました。

夜は河口湖畔のホテルで懇親会が行われ、終始和やかな雰囲気でとても楽しい時間を過ごしました。(夜中の2時過ぎまで熱心に情報交換された方々もいらっしゃいました。)

2日目は雄大な富士山を車中より眺めつつ、アマダ様の富士宮工場へ。レーザー専用工場ではICカードを使った生産管理システムや整備された屋台ブース等最新の生産ラインを見学しました。

午後はアマダ様の展示場へ行き、板金技能フェアと展示会場を見学しました。板金技能フェアには会員企業様からの出展も多数有り、皆さん興味深く見学、投票されていました。展示会場では、双腕ロボット付きベンディングシステムなどこちらも興味深い展示がたくさんありました。

その後羽田空港へ向かい、また九州の各空港へと帰って行きました。今回の研修会は、移動も多くかなりハードなスケジュールではありましたが、内容の濃い大変有意義な研修会だったと思います。

<記事担当:長澤 敏光>
ナサ工業(株)



関東精工様にて増田会長から説明をうける



ヤマイチ様にて集合写真

第10回 九州シートメタル工業会懇親ゴルフ大会 開催される!

11月20日(土)秋晴れのなか、入江総務部会長以下12名の方にご参加いただき熊本県玉名市の名門「玉名カントリークラブ」にて第10回九州シートメタル工業会懇親ゴルフ大会が開催されました。

天候が良すぎたためか、参加者の皆さんもいつになく肩に力が入ってしまい、あわやニアピン対象者ゼロという大会始まって以来の大椿事発生も心配されましたが、大きな事故もなく和気あいあいと楽しくプレーを終えることができました。

プレー終了後、同クラブ内食堂にて懇親パーティーが開かれ、席上 $45+42=87$ 、ネット75.0で回られ見事優勝された㈱稻富プレス工業所の稻富社長様と、 $45+47=92$ 、ネット76.4で準優勝の親和工業(株)の入江社長等の各受賞者への表彰が行われ、日頃の激務から解放され和やかな雰囲気のもと盛況の内に会を締めくくることができました。

参加された皆様には本当にお疲れ様でした。あらためて御礼申し上げます。

また、今や工業会の皆様は九州一円からお集まりいただいているので、宿泊コンペや他の行事と合わせた形での開催も考慮させていただきたいかと思っております。次回他の会員の皆様方も奮ってご参加の程よろしくお願ひ申し上げます。



参加者のみなさん
(玉名カントリークラブにて)

<記事担当:田名部 徹朗>
(株)三松

九州シートメタル工業会 第13回『賀詞交歓会』開催

平成23年1月28日、厳しい寒さの中、会員企業36社(56名)の出席により第13回 賀詞交歓会が福岡にて開催されました。

入江部会長の開宴の辞に続いて、長澤会長のご挨拶では、今年の景気動向に関する話題のほか、パワーアップ研修に見直し(新たにフォローアップ研修が加わった)をかけたことや今年度も当工業会より優秀板金製品技能フェアへの出展が多数あり、好成績が大いに期待されることなど、当工業会の最近の活動についても言及されました。最後に、まだまだ経済情勢は楽観できないものの、この交歓会を通じて会員企業同士の連携をよりいっそう深める場にしてもらいたいと呼びかけられ、年頭の挨拶を締めくされました。

次に、来賓の(株)アマダ・池田西部地区推進部長より御祝辞をいただき、田名部副会長の乾杯にて交歓会の幕が開きました。今年の干支(うさぎ)のイメージ通り、大きな飛躍の年にしたいと考える会員企業が多くはせいでどうか。気がつけば予定時刻をオーバーしてしまうほどの盛り上がりを見せるなか、稻富副会長の万歳三唱にて閉宴を迎えました。

<記事担当:田名部 淳>
(株)田名部製作所



挨拶する長澤会長



歓談する会員の皆様

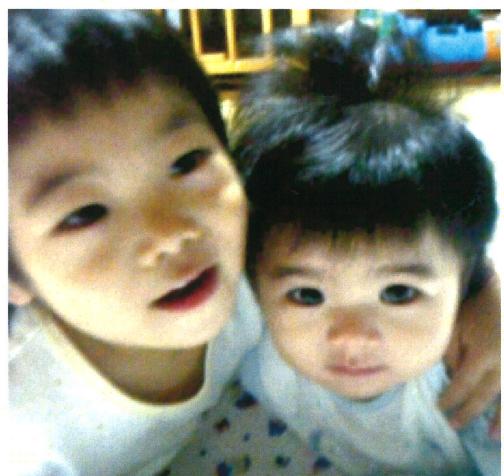
2010年は、子育て環境において、教育・少子化対策・こども手当問題など、さまざまな変化が見られた年でした。

なかでも、よく耳にするようになった『イクメン』をご存知でしょうか？有名男性タレントが育児休暇をとったことも話題になり、2010年流行語大賞にノミネートされるほど注目された言葉です。

『イクメン』とは、子育てを楽しく積極的に行い、自分自身も成長する男性。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のことだそうです。

昨年、厚生労働省が男性にもっと育児に参加してもらおうと育児休業を取得しやすいように、企業へ働きかけたりなど仕事と家庭を両立できる環境を整えて行こうとする取り組み『イクメンプロジェクト』をスタートさせるなど、国をあげて男性の育児参加への意識は高まっています。

最近では、テレビを見ていても育児用品のCMや子育て番組など夫婦で育児に取り組む映像がよく目に付くようになりました。



5年前の子供たち

ひと昔前までは、男性が家族を養うため外で休む間もなく遅くまで働き育児は女性にまかせっきりというのがあたりまえの時代でした。今では、時代の流れと共に、核家族化が進み頼る人がいない環境の中で、女性がひとりで赤ちゃんを育てるのがかなり難しい状態にあり、パートナーである男性に少しでも育児を手伝ってもらい、二人で一緒に子育てをしていくことが今の時代になって来てるみたいです。しかし、育児休暇を取ることで収入が減り、評価が下がるといった理由や周囲の人達に迷惑がかかるなど、まだまだ厳しい環境のようですが、育休を取らなくても育児に関わり、妻のサポートを行っている人も沢山いるようです。

私も二児の父親であり、子育てを積極的に行ってます。

いわゆる『イクメン』です。(笑)

育休を取るとまではいきませんが、子供が生まれる前から夫婦で妊婦学級(赤ちゃんについて、沐浴実習)に行きいろんな事を体験し、子供が生まれてからは、出勤前や帰宅後のわずかな時間も子供と触れ合うことを大切にしてきました。

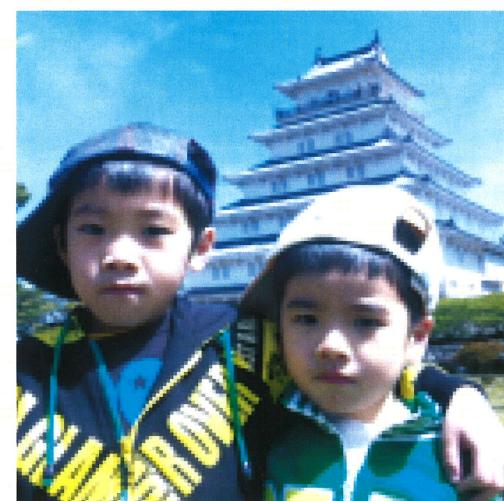
育児に関わることで子供の成長を身近に感じる事ができ、『今まで出来なかつたことが、出来るようになっている!!』と日々驚かされ、小さなことでも喜び、自分自身も成長していると実感できます。また、育児の大変さを改めて感じ、自分もこうして育ててもらったことに感謝の気持ちがわくようになりました。

今では子供たちも逞しく成長し、自分の夢や目標を口にするようになりました。これからもいろんな事にチャレンジし、『失敗しても立ち上がる。』そんな前向きな気持ちを持ち、心豊かに育ってほしいと願うものです。

“男性が育児に参加する”ことで家族の絆もよりいっそう深まるでしょう。子育て環境において社会が抱える問題解決につながる…そんな気がします。今、育児を抱えるパパ！これから、育児をもつパパ！！あなたも『イクメン』を目指してみませんか？！育児の素晴らしい楽しさに、きっと気づくはずですよ。(笑)



7年前の私と子供



島原城にて (現在)

中村 充徳

(有)中村製作所

鉄人倶楽部 Vol. 29 双葉山との約束

～最強の横綱・白鵬は何を想うか！～

白鵬の連勝記録が63で途絶えた翌朝、密着取材していたNHKのカメラが白鵬の部屋に入った。負けた瞬間から沈黙していた一人横綱。勿論、周囲の空気も重い。誰もが話しかけることすら憚った。自室で寝転がる白鵬。担当のディレクターは何を話すでもなく、カメラを回し続けた。こういう跋の悪い取材時は、むしろ言葉は邪魔である。濁んだ空気が止まつた、その時、布団に転がったまま白鵬が、ついに重い口を開いた。「何とか言って下さいよ！」「敗れてダメな奴とかさあ！」これが大記録を逃した白鵬が発した最初の言葉。唯、その大横綱の姿が、まるで運動会のかけっこで負けた小さな子供の様に思えた。今の日本人が失った純真さや正直さが大横綱の表情に見え隠れした。

私は今回の鉄人倶楽部で双葉山の69連勝に、一人挑んだ白鵬を書こうと思った。しかし、突然、相撲界に激震が走った。今回の八百長問題は、待遇面で極端な差がある幕下には二度と落ちたくないという十両力士、しかも、日本人力士の間で横行した。果たして、異国の地からやってきて一人横綱を張り続ける白鵬は一体、今、何を想っているのだろうか？

白鵬が入門したのは2000年。モンゴル出身の仲間、6人と一緒だったが、当時の体重は68kg、身長175cm。白鵬少年はひと際、小柄で引取り手がいなかった。白鵬の



入門して間もない頃。
(SportsよこはまVol.19より)

父は、元モンゴル相撲王者でメキシコ五輪のレスリングでは、金メダルにも輝いた。母親は医者。白鵬はモンゴルでは、かなり裕福な家庭に育った。しかし、異国での経験等、関係ある筈もない。夢抱いた白鵬は、いきなり挫折し、帰国が決定的になった。

が、まさにその帰国前日、「I DO NOT WANT TO GO BACK!」と泣きじゃくる少年を哀れんだ同じモンゴル出身の旭鷲山が、師匠の大島親方(元大関旭国)に直訴、やつとのことで、弱小部屋だった宮城野部屋への入門を許可された。しかし、脆弱な白鵬少年には過酷な日々が待ち受けていた。色白の瘦せぎすだった体の大改造。白鵬は入門から2ヶ月間、稽古もさせてもららず、ひたすらに食べ続け、吐くまで牛乳を飲んだ。その結果、大食漢だった少年は「一夜毎に大きくなり、めきめきと強くなっている」と親方衆をうならせる様になる。それから10年余り、通算589勝の階段を、白鵬

は駆け上がったのである。白鵬の体重は現在153kg、身長は192cm。入門時に比べ、身の丈で17cm、体重は実に2.25倍になっている。

白鵬は去年暮れ、中津市の双葉山の生家を訪ねた。モンゴルから持参したお香を焚いても良いですか？と案内人に申し出て、それを許されると火を灯し、双葉山の写真の前に正座し、黙って合掌した。

「大先輩と約束をしたんですよ。」白鵬は照れた表情で笑った。因みに、連勝記録が途切れた後、双葉山は引退に追い込まれたが、白鵬は、その後も二場所連続優勝している。「双葉山との約束」の中身は明かされなかつたが、白鵬は今も尚、階段を上り続けている。

昨夜、相撲協会への携帯電話の提出を拒否した日本人力士のニュースが流れていた。日本という国は一体、どこで道を踏み誤つただろうか？白鵬の今を想うにつれ、なんだか寂しい限りである。



ウォール・ストリート・ジャーナル
日本版より

プロフィール 白鵬 翔

第69代横綱 宮城野部屋 幕内優勝18回
1985年3月11日生まれ

モンゴル・ウランバートル出身 A型

本名はムンフバト・ダワージャルカル

得意手は右四つ・左上手投げ

好物は焼肉。嫌いなものは納豆とあんこ。

趣味はチェス。

白鵬は、平成の大横綱として貴乃花と比べられることが多いが、双方と取組した力士は「貴乃花がじわじわと責めてくる強さがあるのに對し、白鵬は思いっきり首を絞めてくるような強さだ」と語る。(ウイキペディアより)

<取材：大和 啓介>
三和金属(株)

